日英国際共同制作

ザ・ホーム The Home ［オンライン版］

［原案・総合演出］クリストファー・グリーン ［日本版 作・演出］菅原直樹

Japan-UK International Co-Production　Christopher Green's *The Home*　*The Digital Home*

主催：独立行政法人国際交流基金、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団（彩の国さいたま芸術劇場）

共同制作：独立行政法人国際交流基金、オールバニー劇場、エンテレキー・アーツ、クリストファー・グリーン、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団



バーチャルで体験する「老い」と「介護」

ここは、未来のあなたが暮らす家

オンラインで公開中！　https://www.thedigitalhome.org/

日英国際共同制作

ザ・ホーム The Home ［オンライン版］







ロンドンの大学寮がまるごと架空の老人ホーム〈ザ・ホーム〉に変身、観客は体験入居者として48時間滞在する――。『ザ・ホーム』は、オリビエ賞受賞劇作家クリストファー・グリーンによるイマーシブ・シアター（没入型演劇）です。2019年に英国で初演された本作を、このコロナ禍を経て、日英合作のオンライン版として再構築。日本版の作・演出には「老いと演劇」を実践する菅原直樹（OiBokkeShi）。彩の国さいたま芸術劇場の高齢者演劇集団「さいたまゴールド・シアター」とのコラボレーションにより、デジタルの世界で「老い」と「介護」に切り込みます。

あおぞら THE HOME

▼施設概要

〈ザ・ホーム〉は英国で32か所の老人ホームを展開するグローバル企業。海外にシェアを拡げる〈ザ・ホーム〉が日本で開設した有料老人ホームが〈あおぞら〉です。〈あおぞら〉では「介護に文化を」をモットーに、施設長・柏原直人を中心とした入居者本位のケアに熱い情熱を注ぐスタッフと、演劇好きで個性派揃いの入居者たちが、泣いたり笑ったり、賑やかな日々を送っています。

▼バーチャル施設見学のご案内

〈ザ・ホーム〉での暮らしをオンラインで体験してみませんか。

ご見学には、下記のURL・アプリからアクセスしてください。日英の施設がご見学いただけます。

○ウェブ版
https://www.thedigitalhome.org/
公開日：2021年9月25日（土）10時

○アプリ版
App Store（IOS）またはGoogle Play（Android）からダウンロードしてください。
公開日：2021年10月5日（火）10時

＊いずれも12月31日まで公開

検索 | The Home

App Store からダウンロード　Google Play で手に入れよう

▼〈あおぞらシアター〉

オンライン・ワークショップ参加者募集！

〈あおぞら〉をもっと知りたい、〈あおぞら〉のスタッフや入居者と一緒に「老い」や「介護」について考えてみたい。そんなあなたのために、オンライン・セッションを開催します！ Zoomでつながり、私たちの演劇ワークショップ〈あおぞらシアター〉に参加しながら、老いの予行練習をしませんか。

○日時
2021年10月8日（金）・9日（土）・10日（日）
各日 ①11:00～12:00／②14:00～15:00／③16:00～17:00（所要時間：1時間程度）

○定員 各回6名

○参加料 500円

○お申込み チケットぴあ
https://w.pia.jp/t/thehome-online/

▼お問合せ 彩の国さいたま芸術劇場

○TEL.0570-064-939（休館日を除く10:00～19:00） ○Email: thehome@saf.or.jp

「ザ・ホーム――オンライン版」
原案・総合演出：クリストファー・グリーン
［英国版］
作・演出：クリストファー・グリーン
［日本版］
作・演出・出演：菅原直樹（OiBokkeShi）
出演：阿部輝、鈴木真之介、佐藤蛍、武田有史

石川佳代、大串三和子、小渕光世、滝澤多江、田村律子、林田恵子、百元夏繪、葛西 弘、北澤雅章、髙橋 清、竹居正武、遠山陽一、森下竜一
（以上、さいたまゴールド・シアター）

森下田美子（ナレーション）、武田郁乃
伊藤亜紗、孫大輔

映像監督：遠山昇司
撮影・編集：加藤信介

映像プロデュース：武田知也（ベンチ）／照明：鎌田春樹
収録：山本未知／衣裳管理：山岸祐子／ヘアメイク：宮﨑智子
映像制作アシスタント：関あゆみ
映像制作補佐：小森あや（ベンチ／TASKO）

デジタルプラットフォーム制作：Marmelo Digital

宣伝美術：hi foo farm／宣伝イラスト：あさののい

企画・制作：公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
主催：独立行政法人国際交流基金、
公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
共同制作：独立行政法人国際交流基金、オールバニー劇場、
エンテレキー・アーツ、クリストファー・グリーン、
公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

entelechy arts　the Albany　JAPANFOUNDATION 国際交流基金

◎プロフィール



©Sorcha Bridge

クリストファー・グリーン
Christopher Green
イマーシブ・シアターの手法で数々の話題作を生み出す劇作家・演出家・俳優。実験的・社会的・政治的でありながらあくまでエンターテインメントを追求する自在な作風で、英国の演劇界でも異色の存在。代表作にオリビエ賞受賞作『C'est Duckie!』等。ナショナル・シアター、バービカン・センターを始め、英国の主要劇場・劇団・芸術祭からの委嘱製作に加え、BBCラジオ4のドラマ脚本やテイト・モダン、また海外でのプロジェクトでも多彩な才能を発揮している。

―



©草加和輝

菅原直樹
Naoki Sugawara
劇作家・演出家・俳優・介護福祉士。「老いと演劇」OiBokkeShi主宰。認知症ケアに演劇的手法を活用した「老いと演劇のワークショップ」を全国各地で展開。さいたまゴールド・シアターと協働した『よみちにひはくれない 浦和バージョン』（2018年／世界ゴールド祭）、OiBokkeShi×三重県文化会館「介護を楽しむ」「明るく老いる」アートプロジェクト（2017年～）など、国内外からの招聘、公演も多数。平成30年（第69回）度芸術選奨文部科学大臣賞新人賞（芸術振興部門）等、受賞多数。セゾン文化財団フェロー。

―

さいたまゴールド・シアター
Saitama Gold Theater
「年齢を重ねた人々が、その個人史をベースに、身体表現という方法によって新しい自分に出会うことは可能か」という蜷川幸雄の発案を基に、2006年4月、1,200名を超える応募者の中からオーディションで選ばれた48名で発足。07年6月の第1回公演以降、第一線で活躍する劇作家の新作を意欲的に上演している。これまで4度の中間発表、7回の本公演を実施。『鴉よ、おれたちは弾丸をこめる』では海外（パリ・香港）にも招聘されるなど、国内外で成功を収めている。

SAITAMA ARTS FOUNDATION
公益財団法人
埼玉県芸術文化振興財団
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1
TEL.048-858-5500（代表） FAX.048-858-5515